

第16回 春

6年目を迎えた春、「安全」が強調される今も放射能の影響は大きく、リフレッシュのニーズは変わりません。今回も30件余りのご応募をいただき、抽選で16組48人(子ども31人)を世田谷にお招きしました。砧公園や羽根木プレーパークでの外遊び、世田谷線ツアー、区長も参加しての交流会など。延べ90人余のボランティアに支えられて今回も充実したリフレッシュを過ごしていただけたと思います。

- 3/30(木) 貸し切りバスで福島を出発。到着後は宿舎近くの公園でひと遊び、夕食後は恒例の歓迎会。学生ボランティアのパフォーマンスの後は福島の様態やリフレッシュの予定などを話し合いました。
- 3/31(金) 砧公園でのお花見会。桜は3分咲き、お昼前には雨もばらついてきたので宿舎の集客室で世田谷の会スタッフ手作りのお花見ランチを食べました。
- 4/1(土) 世田谷線沿線巡るオプションツアー。3コース、5家族16人が参加して小雨の中をキャロットタワー、代官屋敷、豪徳寺などを訪れました。待ちきれずに羽根木プレーパークに行った家族も。
- 4/2(日) 自由行動。宿舎の周辺でのんびりしたり、観光に出かけたり、思い思いの休日を楽しみました。
- 4/3(月) 待望の羽根木プレーパークでの外遊び。桜も開き始め、木登り、屋根登り、滑り台、水遊びに泥んこ遊び、鬼ごっこに工作…思い切りプレーパークを楽しみました。送別お茶会には保坂区長も加わって6年目の福島の様態、保養のことなど福島の参加者から積極的な発言があり、世田谷でできることを考える有意義な話し合いができました。
- 4/4(火) お昼まで砧公園で遊んで、別れを惜しみつつ帰りのバスへ。帰りたくないと言いつつ泣いて訴える子、福島に帰りたくない、せめて次回にも来て欲しいと強く思います。



豪徳寺の招き猫の大群にびっく!



久しぶりの綱引き大会。子どもチーム勝利で大喜び!



砧公園で大縄跳び。春の風がきもちいい!



桜満開の羽根木プレーパークでいっぱい遊んだよ!



恒例・乙さんの紙飛行機も大盛況

第17回 冬

私たちが東京で潤沢に消費している電気のために被災した福島の子どもの健康と安全・安心が取り戻せるまでこの活動を続けたいと願っていますが、経済的・人的パワーへの配慮から17年夏の世田谷でのリフレッシュは断念せざるを得ませんでした。17回目となる冬は18家族53人(子ども31人)を世田谷にお迎えすることができました。年末にもかかわらず65人余のボランティアさんのご協力で、事故もなくリフレッシュを楽しんでいただけたと思います。

- 12/23(土) 福島から順調に到着、まずは砧公園でひと遊び。ボランティアさんも快調にフォロー!夜の歓迎会は学生さんが大活躍。和やかに、元気に交流できました。
- 12/24(日) 羽根木プレーパーク。遊ぶぞ!寒さをものともせず、走って、登って、掘って、跳んで、転んで…羽根木のサポーターやお母さんたちと作ったカレーのランチでエナジーチャージ!思い切り遊んだ後はプレーパーク名物の「あそぼうパン」の美味しいおやつ。
- 12/25(月) 自由行動。オプションプログラムの世田谷線ツアーには5家族が参加、キャロットタワー、豪徳寺など、世田谷の観光スポットを巡りました。引き続きプレーパークで遊んだ家族も!夜のお茶会は大人の時間、福島の様態とそれぞれの思いを共有しました。
- 12/26(火) 砧公園でボランティアのお兄さん・お姉さんと遊んで別れを惜しみ、再会を願いつつ福島への帰路につきました。



砧公園のぐねぐね遊具でひと遊び。



「すたま」のみなさんのフラグリング芸!



夜の歓迎会は学生のみなさんのおかげで大いに盛り上がりました!



ボランティアさんとペーパード



砧公園の機関車はいつも大人気!



羽根木プレーパーク名物「あそぼうパン」。炭火でじっくり焼きます。



たくさんの方々に支えられていると実感しました。もう大丈夫と福島で外で遊んでいる子ども、もう大丈夫と福島産の野菜を食べている、なぜ保養に行くのかと言う知り合い…この温度差に、やるせない、悲しい思いを感じました。こんなにも、福島の子どものことを考えてくれている方たちがいるのは、嬉しい、自分が間違っていないと思える機会でした。

この5泊6日の間、気が付いたらいつも笑っていた様な気がします。沢山遊んで沢山食べて沢山笑って夢のような日常を体験させて頂きました。ご尽力いただいた全ての皆様にお礼を伝えたいです。ありがとうございました。
保養してくださる団体が少なくなってきた中、低価格で保養を続けて下さって感謝しています。子ども達も、私もまだ帰りたくない!と思うほどとても楽しく過ごさせて頂きました。



羽根木プレーパークのみの参加でしたが、子どもたちの自主性を尊重し、その活動を見守りつつ、一緒に楽しむことができました。同世代のボランティアの方々とも交流でき、とても刺激になりました。(学生ボランティア)

到着後すぐに機関車のある公園で遊んでから、歓迎会での楽しい世田谷さんからおもてなしに始まり、宿舎での対応や美味しい食事、子どもたちいつも遊んで下さったボランティアのお兄さんお姉さん、羽根木プレーパークでそれぞれに楽しく遊んだ事、自由行動では案内して頂いて電車に乗って世田谷を満喫できたこと、すべてが楽しい思い出になりました。世田谷が大好きですが、ますます好きになりました。

日々の忙しさに紛れて保養に行く事を躊躇してしまうこともあったのですが、やっぱりリフレッシュはとても大事だと気付かされました。たくさんのお会いもありました。お世話になった皆様に心から感謝です。本当にありがとうございました。
親子で、いろいろな体験ができてよかったです。特に外遊びは、子どもがしたい遊びを安心して遊ばせることができました。落ち葉をたくさん触り、ぶらんこの順番待ちをしたり、当たり前を安心してできました。

最終日の砧公園で走りまわっている子どもたち、以前からの友達であるかのように一緒に遊んでいる子どもたちの様子が楽しい4日間だったと感じられました。(ボランティア)
今回が、今までで一番、話すのが難しかった。今住んでいる福島に疑問を持っているお母さんが多くて、とても息苦しく感じた。難しい時期に来ているのか?地域の分断や原発への反対の声が上げ辛いのではないかと思われた。(ボランティア)